

# そば栽培による遊休荒廃地の解消

## 木祖村菅地区ソバ振興組合の活動

木祖村菅地区では、高齢化や後継者の不在により耕作できない農地が増え、地域内に耕作放棄地が点在するようになってきたことから、平成21年に菅地区ソバ振興組合を設立、平成22年から耕作放棄地再生緊急対策事業を活用して、遊休地を解消し、そばの生産振興を進めています。



【再生前】



遊休農地解消実績及び計画

年度	再生面積 (a)
H21 実績	1 4
H22 実績	7 9
H23 実績	2 5 2
H24 計画	1 3 3
H25 計画	1 2 2
合 計	6 0 0



【再生後】

## 今後の取組み

- 生産されたそばは村内での消費のほか、観光客への提供を考え、乾麺など加工品の試作を進めており、更に改良を加えて道の駅で販売していくことにしています。
- そばを木曾川源流の里きそむら産のブランドに位置づけ、種まきから蕎麦打ちまでの体験やそばを使った新たなメニューづくりにより、そばの郷づくりを進めています。



【乾麺やそばカステラなど試作品の一例】

【報告：木祖村】